

宮島歴史民俗資料館：展示館 B

2 番目の展示館 B は、何世紀にもわたって宮島で開催され、今も島民にとって重要な数多くの年中行事やその他の催し物を紹介しています。祭りの多くは、厳島神社や島にある他の宗教施設に関連した宗教が起源のものですが、地域社会が中心となっていて行われる民俗行事もあります。

宗教を起源とする行事の中で最も壮大で有名なものが管絃祭です。この祭礼行事は、旧暦 6 月 17 日の夜に行われます。現在の暦だと 7 月中旬から 8 月上旬あたりです。精巧な装飾が施された船に乗り、管楽器と弦楽器で古典的な宮廷音楽を合奏しながら厳島神社と宮島や本土の神社の間を航行します。管絃祭に関連する展示品の中には、参加する船の縮尺模型もあります。

船の大きさは異なるものの、秋に行われる「たのもさん」でも船が重要な要素です。古くから農業を禁じられていた宮島の住民は、かつて食料を提供してくれる本土の農民たちに感謝のしるしとして小船を作りました。作られた船は四宮神社でお祓いを受け、日没後に厳島神社から流されます。小さなちょうちんが灯された船が幻想的な光景を生み出します。